

睦月(January)の校長 令和3年度 第3学期始業式校長訓話(抜粋) (R4.1.7)

令和3年度第3学期の始業式は、県内外のコロナ感染が急拡大している上、受験を控えている3年生のことも考慮し、体育館に集まる事は取りやめ、校内放送での始業式としました。

新年にあたり、各学年別に話した内容を列挙します。

【3年生諸君へ】

- ・この冬休みも、補習に模擬試験にと休むことなくコツコツと地道に励んできたこと。
- ・そんな姿勢で頑張ってきた3年生達の学力は、必ず最後の最後まで伸び続けること。
- ・安易な道に流れることなく、できることを計画的に最後まで粘り強く取り組むこと。
- ・決して一人だけで悩まずに、保護者・担任としっかりと相談して最後まで自分を高め続けること。
- ・3年生個々の頑張りや粘りが、3年生全体の大きなうねりとなり、必ずや各自の進路実現に繋がること。
- ・体調には十分に留意し、『受験は団体戦』の集大成として、この益田高校で努力し続けてきた最後の、最後の3カ月を納得できる充実したものにしてもらいたいこと。
- ・それぞれの健闘を、そして満面の笑みで迎える第一志望合格を、心より願っていること。

【2年生諸君へ】

- ・部活動、生徒会活動、各種学校行事など益田高校の中心学年としてさらに活躍すべき学期であること。
- ・課題探究・課題研究活動も含め、周囲の多くの人と協力しながら、より良いもの、より充実したものを目指して、ポジティブに積極的に取り組んでももらいたいこと。
- ・そんな2年生全体の前向きな姿勢が、益田高校全体の雰囲気を作っていく大切な学期だということ。
- ・2年の3学期は、進路目標をしっかりと見定めるべき重要な時期でもあること。担任との面談を通して、自分でも大学等をいろいろと調べながら、できるだけ具体的な目標校・目標学部学科を掲げること。
- ・その進路実現に向けて、まずは『授業第一』である。日々コツコツと継続して努力できる習慣づくりをすること。授業に必要な予習・復習・提出物など、当たり前にするべきことを疎かにしては伸びるものも伸びず、進路目標も具体化しないこと。
- ・3年になってからではなく、この3学期が、自分の将来の進路目標を具体化する「3年の0学期」と意識して取り組むこと。

【1年生諸君へ】

- ・3学期になり、益高生として勉強や部活動の文武両道の継続に向けて、自分は具体的に何を目標に過ごすべきかが見えてきてははずである。
- ・自分の興味・関心・適正を考え、将来の夢、学びたいこと、やりたい職業などを中心に、文理並びに進路目標を定めること。悩むことは決して悪い事ではない。様々な可能性がある中で、大いに悩み、自分探しをしてもらいたい。そんな時間を大切にしてもらいたい。
- ・さらに言えば、今ある職業や資格だけではなく、Society5.0の世の中で今後誕生してくる未知の職業に対しても、大きな枠で文系か理系かを考えることも必要であるかもしれません。いずれにしても経験豊富な担任からのアドバイスをしっかりと聞いて保護者と十分に話し合ってもらいたい。
- ・2年生同様に、進路目標を確かなものとするためには、日々の『授業第一』の心がけと実践が不可欠。
- ・3カ月後には新入生が入学し、君達は先輩となる。各自、この3学期が益高生として文武両道を立派に実践している頼れる先輩になるための充実した「2年の0学期」になる事を期待している。

【あわせて、1, 2年生全員へのお願い】

- ・この3学期、最後の最後まで頑張る3年生を応援し、その姿、生き様をしっかりと見ておいてください。
1, 2年後に自分自身が通る道であるとともに、今、現在の時間を大切にすることに、ぜひぜひ繋げてもらいたいと思います。

それでは『伸びる 伸ばす』『不拔不濁』の精神のもと、充実した2022年となることを願っています。